



城陽おひさまプロジェクト news

第 54 号 2023 年 1 月 12 日 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

謹 賀 新 年

新型コロナの流行も第 8 波・4年を経過、暮らしや経営に大きな影響を与えています。とりわけエネルギーや地球温暖化防止の分野ではロシアのウクライナ侵攻と相まって、一段と厳しさが増しています。平時でも危険な原発が戦時では一層その危険性が増大し大きな脅威となること、そして地域分散型で地産地消の再生可能エネルギーの有効性を学んだ一年だったと思います。一日も早く平和を取り戻し新型コロナの終息で日常が戻り、再エネが大いに普及することを願っています。

今年には2013年6月に法人の設立総会、8月に法人登記が完了して10年の節目の年にあたります。これからもソーラーパネルと省エネ活動・LED電球の普及を軸に活動を強めてまいります。

新年にあたり皆さんの御健勝と再エネ・省エネが、ますます前進することを祈念して、新年の挨拶といたします。

NPO 法人 市民共同発電をひろげる城陽の会 役員一同

市民共同発電所 1 2 号機 ご支援のお願い

京都農民会館の移転新築に合わせ設置、3月に竣工予定

地球温暖化の影響による気候変動ストップの願いは農家も同じです。

京都市伏見区深草の京都農民会館は新築移転に際して温室効果ガスを排出しない太陽光による発電設備 (13.12kW) と蓄電池 (11.2kW) を設置されることになりました。3月中旬には完成の予定です。

農民会館の運営をされている(一般社団法人) 京都農民会館様は私たちの運動に協賛され、発電設備及び蓄電設備の設置を、私たちの会と協力して行うこととなりました。本会としては12号機目の発電設備、蓄電の設置は初めての取り組みとなります。

ご協力ください 協賛金の募集

昨年12月に京都農会館において協賛金の取り扱いなどのサポート契約を結びました。京都農会館発電所建設に向けてご協力をよろしくお願いします。

設置場所

京都市伏見区深草西浦町5丁目21番地。京阪藤森駅に近い現在の農会館の西隣に建設される新しい農会館になります。

設置されるパネル

新設される農会館の屋上に設置されます。機器はパナソニック太陽光発電設備13.12kW、蓄電池もパナソニック製11.2kWです。

募集条件（金額・期間等）

設置費用の凡そ半額、340万円を募集します。

1口10万円とし、口数は問いませんが34口に到達した時点で締め切ります。

拠出された方には残高の1%を年利息とし、元金とともに毎年返済します。

返済開始の時期は発電開始1年後、期間は5年です。

特記事項

売電は行わず、発電した電力は全て農会館内での自家消費（蓄電含む）となります。

3月の竣工にあわせて点灯式を開催できるよう、農会館と協議を進めています。

拠出を希望される方は、本会事務所又は役員に電話・メール・ファックスなどでご連絡下さい。

*「会員の皆様へ」と「協力金」の予約申込書を同封しています、ご利用ください。



建設中の新農会館（12月13日撮影）

防音シートに囲まれているので分かりにくいのですが、鉄筋3階建て延べ床面積は約370㎡。

屋上に太陽光モジュールを35枚設置の予定です。蓄電池ユニットは5.6kWを2台設置する予定。

脱炭素に向かうのか？ GXのGを”ゲンパツ”にさせないために

岸田政権、原発推進に逆戻り建て替え・運転延長を了承 パブコメ22日まで

昨年末、政府は原発の建て替え推進や運転延長などを盛り込んだ方針を決定しました。これまでの東京電力福島第1原発事故をへて「可能な限り原発依存度を低減する」、新增設や建て替えは「想定していない」としていましたが、まるで福島事故を忘れたかのような転換です。円安やウクライナの戦争によるエネルギー危機・物価高騰を「神風」のように利用しての原発依存体制の復活は許されません。「熟議なき転換」（朝日社説）とも危険視されています。政府のGX（グリーントランスフォーメーション）はクリーンエネルギーを主軸とする産業構造、社会システムへと変革を図る概念と言われています。しかし、原発回帰はクリーンでもなく古い原発神話の復活にすぎないのではないのでしょうか。GXを“ゲンパツ”・トランスフォーメーションにさせないために、再エネ・省エネの活動を日本の、世界の仲間とともに続けていこうではありませんか。今月22日までの期間、意見募集（パブリックコメント・パブコメ）が行われます。インターネットの電子政府（e-Gov）に入り意見提出フォームで記入出来ます。また、経産省に用紙を郵送しても提出できます。皆さんの御意見、民意を示していきましょう。

昨年末に「城陽市地球温暖化対策実行計画」への意見を提出

脱炭素化の目標年次の繰上げや毎年の検証など

5年毎に見直しされている「城陽市地球温暖化対策実行計画」の改正にあたり、12月5日から1月4日まで同計画への意見等（パブリックコメント・パブコメ）の提出期間がありました。今回の「計画」は2023年度から2027年度までの5か年間となります。カーボンゼロ宣言を行い2050年に実質二酸化炭素排出量ゼロをめざすうえで重要な出発点となる時期となります。会として役員会で論議を行い、例年城陽市に要望している内容を中心に意見の提出を昨年末に行いました。

基本とした「パブコメ」は、カーボンゼロのあゆみを少しでも早くすることです。城陽市の計画では2013年度を基準年度として27年度に42%削減の21.8万t- CO_2 とされています。これについて30年度削減目標48%を27年度に達成するよう求めました。また、検証は毎年行い公表と必要な施策の強化なども求めています。

具体的な施策について、工場や事務所では「省エネ効果の高い器具や機器に変更すると共に駐車場に雨水透過性の舗装と芝（または龍のひげ等）の植え込みをするなど温暖化防止効果を高める。アウトレットモールや新しい物流センターの植林を大規模に行う。新しくできるアウトレットの店舗や青谷の物流施設の屋根に太陽光発電の設置を義務付ける。農業にソーラーシェアリングを導入する。」などを提案しています。

市役所には「市で使用する電力は当面、3割以上を再生可能エネルギーでつくられた電力を購入する。もちろん、早期に再エネ100%の電気を使用する。市の施設のうち、太陽光パネル未設置の施設については速やかに設置する。また、蓄電池の設置についても同様とする。可能な施設には太陽光集熱器を設置する。防犯灯（街灯）はナトリウム灯や水銀灯を含め速やかにLED化を完了する。市役所や市関連施設等の駐輪場の屋根に太陽光パネルを設置する。公用車やさんさんバスは電気自動車又は水素自動車に変更する事などを求めています。その他、市民が実行できる断熱性の高い建物とするなどの施策なども求めました。会員のみなさんのパブコメもお聞かせください。（城陽市に提出したパブコメ全文を同封しています）

1号機 伊藤宅発電所 完済のお祝い 12月1日

城陽市寺田の伊藤さん宅にパネルが設置されて10年、1号機の協力金が完済。コロナ禍でお祝い式とはなりません、12月1日に土居理事長はじめ5人が伊藤さんに花束を贈呈。土居理事長から「伊藤さんの、うちの家にかけて欲しいの一言からいまの市民発電の歩みが始まった。まもなく12号機に到達する。礎をつくって頂いたことに感謝します」と感謝を伝えました。伊藤さんからは「色々なことがありました、ありがとう」とお礼の言葉がありました。



土居理事長から花束の贈呈



1号機は4.56kW、2013年11月5日に点灯式が行われました。右の写真はその様子を伝える6日の京都新聞。

省エネ実践・第3弾

白熱電球とLED電球の無料交換会

地球温暖化防止は待ったなしの課題、足元から脱炭素の取り組んでいただこうと、これまで文化パルや青谷コミセンを会場に白熱電球とLED電球の交換会を開催し、多くの方々が白熱灯や蛍光灯をLED電球に交換されてきました。これまで交換した白熱電球・蛍光灯など268個以上をLED電球184個と交換することが出来ました。「約85%も消費電力を抑える」(広報「じょうよう」2020年7月1日号)ことができ、それだけCO₂を削減できます。地球にやさしく、家計にもやさしい、一石二鳥の交換会と好評です。

今年も城陽市の後援を受け東部コミセンで開催します。ぜひ、ご家庭にある白熱電球(電球型蛍光灯OK)を1個以上お持ちください、切れていてもかまいません、40w又は60w相当のLED電球1個(26口金)と無料で交換します(一人1個)。

新型コロナ対策として事前申し込み制とし、先着100名様に交換させていただきます。広報2月1日号に掲載される関係上申込は2月2日からです、ご注意ください。締切りは14日です。

★日時 **2月26日(日) 2時から4時**

(1時55分開場 グループ順にミニ学習会と交換をします)

★場所 **東部コミセン・大集会室** (JR城陽駅、徒歩5分)

★事前にハガキ、FAX又は **e-mail** でお申込み

下さい 折返し、交換券(ハガキ)をお送りします。

* チラシを同数しています。ご近所やお知合いの方に「交換会」のお知らせをお願いします。

* 新型コロナ感染対策の為、マスクの着用・連絡先の記入などをお願いします。体温が37.5℃以上の方、体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください。また、感染拡大により開催を中止する場合があります。

《 LED交換会申込書 》

ご希望のグループを、第1希望・第2希望別に選んで
○印をして下さい

	第1希望	第2希望
Aグループ 2時～2時30分	◆	◆
Bグループ 2時30分～3時	◆	◆
Cグループ 3時～3時30分	◆	◆
Dグループ 3時30分～4時	◆	◆

お名前

ご住所

☎

e-mail

_____@_____

この部分を切取ってハガキに貼って下さい

* 車でのご来場は出来るだけ控えてください

* 東部コミセンでは企画内容についての問い合わせ・対応はできません。下記の主催者までお問合せ下さい。

宛先 **NPO 法人 市民共同発電をひろげる城陽の会**

住所 〒610-0121

城陽市寺田今堀 52-106

Fax 0774-55-4190

e-mail bnkmf858@ken.jp

左の申込書を送付又は参考にして下さい。



会のホームページのQRコードです。ホームページのメールを使って申し込むこともできます

主催 NPO法人 市民共同発電をひろげる

城陽の会 (0774-55-4190) 2023.01